

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証してください。実績の検証は法人ごとに行うものであり、法人間の比較を行うものではありません。

委員氏名 []

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

3ブロック：1-2-1 調査・臨床研修等推進～ 1-5-2 他県等の医療救護への協力

1-2-1 調査・臨床研究等推進

岐阜県総合医療センター

岐阜県立多治見病院

岐阜県立下呂温泉病院

H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																								
<p>(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できるよう体制を整備するため、受託件数の増加を図り、「治験センター」の認定を目指す。 平成21年度の実績は、19件である。 平成22年度の目標は、20件である。 項目番号26</p>	<p>・平成22年度の治験の件数は24件、うち新規は半数以上の15件となり、目標を大きく上回った。 ・治験件数</p> <table border="1"> <tr> <td>21年度</td> <td>22年度</td> <td>増加数</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>24</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>○治験部門の体制 部長 1名 副部長 1名 課長 1名 係員 1名 事務員 1名 治験コーディネータ 7名</p> <p>・主な調査研究事業</p> <table border="1"> <tr> <th>研究内容</th> <th>担当科</th> </tr> <tr> <td>大腸癌術後の消化機能異常に対する大建中湯の臨床的効果</td> <td>外科</td> </tr> <tr> <td>慢性腎臓病患者を対象とした疫学研究</td> <td>腎臓内科</td> </tr> </table>	21年度	22年度	増加数	19	24	5	研究内容	担当科	大腸癌術後の消化機能異常に対する大建中湯の臨床的効果	外科	慢性腎臓病患者を対象とした疫学研究	腎臓内科	IV	<p>(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できるように治験管理事務、治験コーディネーター業務を推進するための人材を育成し体制の強化、受託件数の増加を図る。 治験管理部門の立ち上げ準備のための研修に参加するとともに治験受託件数増加を図るため、薬剤部が窓口となり医師に働きかけを行う。</p> <p>平成21年度実績 1件 平成22年度目標 1～2件 項目番号26</p>	<p>平成23年度から薬剤部内に新たに治験管理担当を設置することが決定され、必要な準備を行い職員1名が配置されることとなった。 治験管理部門の設立準備のため他施設（岐阜県総合医療センター）の現状調査を行った。 また治験受託件数増加を図るため薬剤部職員が積極的に医師に参画を呼びかけた。</p> <p>平成22年度実績 1件</p>	III	<p>(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制を整備し、受託件数の増加に努める。 項目番号22</p>	<p>薬剤部・事務局（契約締結、収入・研究予算管理）で役割分担し治験実施体制を整えている。また、受託実績に応じて研究に必要な予算を実施診療科に配分する仕組みにより受託件数の増加を促している。 ◆平成22年度受託実績 【製造販売後調査】</p> <table border="1"> <tr> <th>実施診療科</th> <th>受託件数</th> </tr> <tr> <td>脳神経外科</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【特定使用成績調査】</p> <table border="1"> <tr> <th>実施診療科</th> <th>受託件数</th> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>1件</td> </tr> </table>	実施診療科	受託件数	脳神経外科	2件	整形外科	1件	実施診療科	受託件数	内科	1件	外科	1件	III
21年度	22年度	増加数																														
19	24	5																														
研究内容	担当科																															
大腸癌術後の消化機能異常に対する大建中湯の臨床的効果	外科																															
慢性腎臓病患者を対象とした疫学研究	腎臓内科																															
実施診療科	受託件数																															
脳神経外科	2件																															
整形外科	1件																															
実施診療科	受託件数																															
内科	1件																															
外科	1件																															
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	検証結果																								
<p>(2) 先端医療など新しい医療について研究、研修を行うとともに、EBMに基づく医療を行い、疫学統計調査や臨床研究を行いかつ管理する「臨床研究部（仮称）」の創設に向け準備する。 項目番号27</p>	<p>・臨床研究部創設に向け検討を実施し、理事会の承認を受け23年度から設置することとした。</p>	III																														
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	検証結果																														

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-2-2 診療等の情報の活用

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 項目番号 28 診療記録の質的・量的点検を行い、問題点をフィードバックしたり、電子カルテに入力された情報に基づきデータを分析し、医療の質の向上に寄与する等、医療総合情報システムをより有効に活用し、診療記録等医療情報の管理機能の充実を図る。</p>	<p>・新たに当センターに赴任した医師及び研修医 48 名が電子カルテに登録した診療記録について、入院診療計画書との整合性、診断過程の記述内容などを診療情報管理部副部長が監査し、そのレベル向上を図った。 ・診療情報から抽出したDPCデータを分析ソフトを活用し、加えてコンサルタントを活用したことにより、診療科別に症例検討を実施し、在院日数の短縮（取組対象症例について 14.8 日→14.2 日）、出来高に対するDPC収益の増収率の向上（同 3.48%→3.60%）の効果がみられた。 ・診療材料について、当院使用の上位 100 品目について価格比較を実施し、価格交渉を行いコスト削減ができた。（材料比率 H21 比較 30.1%→29.2%）</p>	III	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 項目番号 27 救命救急センター、各診療科の患者数、平均在院日数を毎月公表する。疾患別にDPCデータとともに医療情報を適宜抽出することで治療レベルを判断し、治療成績を向上させる。また、検査及び治療成績は年報やホームページで公表する。 医療情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、活用できるよう各種電算機器のデータ保存スペースの確保、又は再構築を行う。 また、地域の医療機関とのデータ連携については、地元医師会と協議する。</p>	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 ・患者数や平均在院日数は患者月報にて毎月管理会議等にて院内で公表している。 ・それぞれの診療科において医療資源の投入・診療行為のプロセスが分析できるように、分析システムEVEの操作研修を行うとともに、今後の治療レベル向上のために、DPC委員会等を通じ、診療情報の提供を行った。 ・DPCデータを自由に使えるように、高性能の端末機とソフトのアクセスを導入した。 ・検査及び治療成績を年報やホームページで公表・更新している。 ・医療情報システムのデータ保存領域を確保するため、医療情報システムサーバーの更新を計画し、一部の診療録データベースサーバーについてリース契約を締結した。（平成23年度にデータ移行、医事会計等その他部分のデータベースサーバーについてのリース契約、データ移行を行う。） ・地域の医師会長が参加する地域医療連携推進協議会（年4回開催）において、当院の救急患者の受け入れ状況、医療連携を通じた高度医療機器の利用状況等のデータを共有した。</p>	III	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 項目番号 23 医療情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、医療情報として提供することにより院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図る。 また、その情報を地域の医療機関へも情報提供することにより地域医療全体の活性化を図る。</p>	<p>医療情報システムに蓄積されたデータを利用して、診療委員会における報告書や、診療実績、収支状況等の経営概要一覧を作成し、それらを毎月行う管理会議で職員に資料提示して病院の実状を周知させ、経営改善に向けてよりよい医療体制づくりに努めた。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>項目番号 29</p> <p>集積したエビデンスを、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理体制の充実を図り、院内診療データを集積、整理し、医学統計を作成する。また、他職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。</p>	<p>・医学統計などへの活用</p> <p>電子カルテに登録されている「退院サマリー」の主病名を病歴管理システムにデータ連携させ、当該システムにより集計し、医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」とがん登録システムを連携させ、県に提出する地域がん登録届出票を1,509件作成するなど、電子カルテに集積されたデータの有効活用を行った。</p> <p>・各診療科・センター毎に診療内容及びカンファレンス並びに保健医療についてホームページにて随時情報を提供した。</p>	III	<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>項目番号 28</p> <p>集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理体制の充実を図り、院内診療データを集積整理する。医療の質向上のため、主な疾患の治療成績を各診療科のカンファレンスなどで評価し、成績向上のための方策を検討する。</p>	<p>集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>・診療録管理室を中心に院内がん登録の実施や退院サマリー等の医師記録の確認を行った。</p> <p>・疾患別の治療件数及び治療成績等を学会等の主導する登録事業に提供した。</p> <p>・カンファレンスで、各不成功例の原因及び対策について検討を行った。</p>	III	<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>項目番号 24</p> <p>集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用することで、医療の質の向上を図る。特に、地域医療研究研修センターでの調査研究事業において有効な活用を図る。</p> <p>また、病院年報を年1回発行し、その研究成果を岐阜県及び圏域市町村の関係機関に提供する。</p>	<p>下呂温泉病院年報第35号を発行し、院内での活用による医療の質の向上を図るとともに関係機関へ配布し、情報の提供を行った。</p> <p>【配布先】</p> <p>・県内、県外医療機関等 延96機関</p> <p>・岐阜県機関、飛騨圏域 3市1村、中津川市 延17機関</p> <p>合計 113機関</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-2-3 保健医療情報の活用・発信

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院					
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価			
<p>(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 項目番号 30 引き続き、県民に関心の高いテーマを中心に県民健康セミナーの開催や模擬カンファレンス等を実施する。 平成21年度の実績は、「感染症対策～新型インフルエンザにそなえる～」と題してセミナーを開催した。</p>	<p>・県民健康セミナー開催実施 テーマ：「糖尿病について～急増する糖尿病にそなえる」 日 時：平成22年11月13日（土） 13：30～16：00 参加人数：150人</p>	III	<p>(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 項目番号 29 一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に対する情報の提供や発信を行う。 現在、2ヶ月に1回開催されている東濃支部ソーシャルワーカー研修会を、継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用していくよう努める。</p> <p>○市民公開講座 平成21年度実績 1件 骨粗しょう症について（参加者132名） 平成22年度も一回以上、より市民の関心度が高いテーマを厳選し、開催する。</p>	<p>公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・東濃支部ソーシャルワーカー研修会を2ヶ月に1回開催し、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用していくよう努めている。 ・難病福祉相談会に、福祉相談員として参加した。 ○市民公開講座 開催日・場所：10月9日 多治見市文化会館 テーマ：「認知症について」 講師：精神科医、神経内科医、言語聴覚士、医療相談室職員 参加者数：197名</p>	III	<p>(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 項目番号 23 一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に対する情報の提供や発信を行う。</p>	<p>公開講座等の実施状況 ◆糖尿病教室 【開催内容】患者・家族を対象に、生活習慣の改善やその動機付け、病気に対する正しい知識の取得 【開催日】4～6月 原則毎週火曜日開催（計12回開催） 延べ約50名以上参加 1～3月 毎月第4木曜日開催（計3回開催） 延べ27名参加</p> <p>◆マタニティエクササイズ・ベビーピクス 【開催内容】助産師による指導 ・マタニティエクササイズ 妊娠中の運動、エクササイズ、ヨガ、リラクゼーション ・ベビーピクス 赤ちゃんとのスキンシップとエクササイズ 【開催日】毎月第4木曜日開催（H22 計15回開催） 【参加者数】延べ約40名以上</p>	III			
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(2) 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>項目番号 31</p> <p>岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」の定期発行や、必要に応じ「H22 診療案内」を改訂するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する。</p>	<p>岐阜県総合医療センターホームページのコンテンツ「診療科・部局・委員会」において、各センター、診療科別に症例数・治療内容・治療実績等を公表し県民への情報提供をおこなった。</p> <p>病診連携部でPR誌「すこやか」を発行した。</p> <p>・すこやか発行実績 平成22年度2回</p>	III	<p>(2) 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>項目番号 30</p> <p>病院のホームページで最新の情報を発信するとともに関係機関や医療情報サイト等に情報を提供する。また、ホームページのアクセシビリティを充実させるため、「読み上げソフト」への対応を検討する。さらに病院広報誌では、掲載内容を厳選し、幅広い年齢層に対し最新の情報を提供する。</p>	<p>保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>・広報「けんびょういん」を4月と11月の2回発行した。ホームページについても、常に新鮮な情報を提供するために、広報委員会のメンバーを中心に逐次、内容の更新を行った。</p> <p>・多治見市及び土岐市のタウン紙に当院医師による健康情報を投稿した。</p> <p>・「読み上げソフト」への対応については、トップページのデザイン上の見やすさとの関係から、引き続き検討することとした。</p>	III	<p>(2) 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>項目番号 26</p> <p>病院が有する保健医療情報についてもホームページで公開するよう努めるとともに、病院広報誌の内容充実を図り、地域が必要とする保健医療情報の提供に努める。</p> <p>また、他の機関が主催する住民等に対する講師派遣についても積極的に協力していく。</p>	<p>◆病院広報誌の発行</p> <p>「健康と医療」を6月と12月に3000部ずつ発行。治療情報や健康管理情報を掲載し、圏域の開業医・自治会・福祉関係施設など54の関係者や団体に配布することにより、地域が必要とする保健医療情報の提供を行った。</p> <p>◆地域医師会主催講演会への参加</p> <p>下呂市医師会主催の学術講演会に当院医師・看護師が講師、座長として参加。症例検討や講演などにより、医療情報の提供を行った。</p> <p>【H22年度参加回数】</p> <p>6回 (参加人数延べ15名)</p> <p>※講師等の役割で参加した回数</p> <p>◆ホームページでの情報提供</p> <p>内視鏡の新しい検査方法など、住民向けの情報提供(コンテンツ数2)を行った。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(1) 質の高い医療従事者の養成 項目番号 32 最先端の医療技術・知識の取得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるよう支援する。また、国内や海外での留学を制度化したり、他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を検討する。</p>	<p>・各診療科・部において医療従事者の養成を行っている。 ・国内外での長期の留学・研究等が行えるよう規定を整備済みである。 ・平成22年度医師派遣 ① 放射線治療科、派遣先：米国（カルフォルニア大学サンディエゴ校） ② 循環器内科、派遣先：横浜労災病院（1回/週）</p>	III	<p>(1) 質の高い医療従事者の養成 項目番号 31 最新の医療技術、知識習得のための学会や講習会への参加に必要な費用を病院で負担し、支援を行う。 院内では、外部から講師を招いて講演会等を行い、専門領域から一般領域まで幅広く知識を習得し、レベルアップを図る。</p>	<p>質の高い医療従事者の養成 ・各種学会等の座長、発表者、評議員にあたる医師に関して、出張旅費を支給し支援を行った。（それ以外の参加については、年2回程度の支援を行った。） ・院内で開催の講演会に外部から専門家を講師として招き、職員の知識習得に寄与した。（年間12件） ・医療安全、緩和ケア、感染管理の各種委員会研修など病院の機能維持に必要な講習会への参加を支援した。（出張旅費及び参加費） ・研修医に対し、毎月各診療科部長による実践的な講義を行った。 ・研修医を対象とした症例検討会を月1回開催した。研修医自ら症例提示を行った。</p>	III	<p>(1) 地域医療を目指す医師の養成 項目番号 27 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターからの臨床研修医を積極的に受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努める。 また、平成22年度においては、初期研修医1名を受入れる。</p>	<p>岐阜大学地域医療学センター及び岐阜県総合医療センターの協力施設として地域医療研修を行う臨床研修医の受入れを行うとともに、管理型の臨床研修病院としてH22年度に1名の臨床研修医を受け入れた。 【研修の状況】 ・卒後1年目 ・実施した研修科（内科6ヶ月、外科2ヶ月、救急3ヶ月、選択科1ヶ月） また、臨床研修の指導体制を強化するため、臨床経験7年以上の医師3人が「臨床研修指導医講習」を受講、指導医の増員を図った。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		
<p>(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 項目番号 33 後期研修医に対しては、新医師臨床研修制度に則った岐阜県総合医療センター独自の研修及び岐阜大学医学部附属病院と密なる連携による研修プログラムを開発し、推進する。また看護部、臨床検査科、中央放射線部等院内の各部署の協力を得て、研修プログラムが円滑に遂行できるよう引き続き支援するとともに、各種学会、研究会等へ参加できるよう支援する。</p>	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等を実施した。 ○平成22年度実績 後期研修医人数36人 学会参加 のべ75人日</p>	III	<p>(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 項目番号 32 後期研修1年目は複数診療科での研修が可能で選択の自由度が高い。各診療科においては、専門領域の疾患の診断と治療はもとより研究会、学会参加や学会発表の支援を行う。特に後期研修2年目で論文発表出来るまでの支援を行う体制を整える。</p>	<p>(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 ・後期研修医にたいして、多くの診療行為に携わらせることによって豊富な症例を経験させてきた。 ○後期研修医（12名）入院患者担当件数 1,252件 麻酔科研修医（2名）手術麻酔管理件数 349件 ・研究会や学会発表、学会参加に対しては旅費を支給することで、積極的な参加を促した。</p>	III	<p>(2) 臨床研修医の県内定着化の促進 項目番号 28 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター及びその他の県内臨床研修病院等と連携し、研修医を支援するネットワーク構築の検討を行う。</p>	<p>岐阜大学地域医療学センター及び岐阜県総合医療センター等との密接な連携のもとに当院を実践フィールドとし、地域医療を担う医師の養成を実施。（受入数はNo.03のとおり） 当院の見学を希望する他県の医学生に対し、積極的に地域医療に関する説明を行った。（富山大学1名、東京大学1名、信州大学1名、琉球大学1名）</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																	
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																																																															
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																																
<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <p>項目番号 34</p> <p>県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受け入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。</p> <p>平成21年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>4月～ 延べ35名</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>4月～ 359名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立衛生専門学校</td> <td>随時実施</td> </tr> </table>	医学生の病院見学	4月～ 延べ35名	看護学生	4月～ 359名	岐阜県立衛生専門学校	随時実施	<p>・研修生の受け入れ実績は下記のとおりであり、前年実績を大幅に上回った。</p> <p>平成22年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>4月～ 延べ78名</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立衛生専門学校 岐阜県立看護大学 平成医療短期大学 岐阜大学医学部看護学科 岐阜保健短期大学 弥富看護専門学校 他 のべ1,568名 </td> </tr> </table>	医学生の病院見学	4月～ 延べ78名	看護学生	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立衛生専門学校 岐阜県立看護大学 平成医療短期大学 岐阜大学医学部看護学科 岐阜保健短期大学 弥富看護専門学校 他 のべ1,568名 	III	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <p>項目番号 33</p> <p>医学生実習受け入れについては、従来の名古屋大学、名古屋市立大学に加え岐阜大学からの受け入れを行う。(年間2～3名の予定)</p> <p>看護学生に対しては実習の積極的な受け入れ、当院の人員確保に努める。</p> <table border="1"> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>1～3年生</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>1年生(2日)、3年生(男性・小児・成熟期)</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>4年生(卒研未定)</td> </tr> <tr> <td>岐阜大学看護学部</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>名古屋医専(助産学科)</td> <td>4年生(選抜実習)</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>3人×2グループ(8月に2週間)</td> </tr> <tr> <td>養護職実習</td> <td>3年生(NICU 2日間)</td> </tr> </table>	多治見看護専門学校	1～3年生	県立看護大学	1年生(2日)、3年生(男性・小児・成熟期)	中京学院大学	4年生(卒研未定)	岐阜大学看護学部	1年生	名古屋医専(助産学科)	4年生(選抜実習)	東濃看護専門学校	3人×2グループ(8月に2週間)	養護職実習	3年生(NICU 2日間)	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <p>○医学生の受け入れ状況</p> <table border="1"> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> <tr> <td>名古屋市立大学</td> <td>7名(循環器内科1名、麻酔科6名)</td> </tr> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>1名(麻酔科)</td> </tr> <tr> <td>岐阜大学</td> <td>3名(腎臓内科、整形外科、産婦人科各1名)</td> </tr> </table> <p>○看護学生受け入れ実績</p> <table border="1"> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>1～3年生を随時受け入れ</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>前期・後期あわせて延べ15名受け入れ</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>1年生 19名受け入れ</td> </tr> <tr> <td>名古屋医専(助産学科)</td> <td>4年生 6名受け入れ</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>NICUにて21名受け入れ</td> </tr> <tr> <td>広島大学大学院</td> <td>がん専門看護実習 1受け入れ</td> </tr> </table> <p>○その他(コメディカル)の受け入れ状況</p> <table border="1"> <tr> <th>受け入れ部署</th> <th>受け入れ元・受け入れ状況</th> </tr> <tr> <td>薬剤部</td> <td>金城大学1名、名古屋市立大学2名、たんぽぽ薬局3名、岐阜薬科大学1名、名城大学1名</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>岐阜医療科学大学1名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査科</td> <td>岐阜医療科学大学1名</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション科</td> <td>名古屋大学2名、愛知医療短期大学1名、平成医療短期大学2名、日本聴能言語福祉学院5名、愛知徳徳大学1名</td> </tr> </table>	受け入れ元	受け入れ状況	名古屋市立大学	7名(循環器内科1名、麻酔科6名)	名古屋大学	1名(麻酔科)	岐阜大学	3名(腎臓内科、整形外科、産婦人科各1名)	受け入れ元	受け入れ状況	多治見看護専門学校	1～3年生を随時受け入れ	県立看護大学	前期・後期あわせて延べ15名受け入れ	中京学院大学	1年生 19名受け入れ	名古屋医専(助産学科)	4年生 6名受け入れ	東濃看護専門学校	NICUにて21名受け入れ	広島大学大学院	がん専門看護実習 1受け入れ	受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況	薬剤部	金城大学1名、名古屋市立大学2名、たんぽぽ薬局3名、岐阜薬科大学1名、名城大学1名	中央放射線部	岐阜医療科学大学1名	臨床検査科	岐阜医療科学大学1名	リハビリテーション科	名古屋大学2名、愛知医療短期大学1名、平成医療短期大学2名、日本聴能言語福祉学院5名、愛知徳徳大学1名	IV	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <p>項目番号 29</p> <p>看護学生の実習の受け入れ体制充実を図る。</p> <p>平成20年度実績 看護学校等 106名</p> <p>平成21年度見込 看護学校等 95名</p> <p>◆看護学生の実習受け入れ実績</p> <table border="1"> <tr> <th>学校名</th> <th>受入数</th> </tr> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>延べ 692 名</td> </tr> <tr> <td>県立衛生専門学校助産科</td> <td>延べ 36 名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>延べ 72 名</td> </tr> <tr> <td>名古屋学芸大学短期大学部</td> <td>延べ 4 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>延べ 804 名</td> </tr> </table> <p>◆下呂看護専門学校への講師派遣</p> <table border="1"> <tr> <th>職種</th> <th>派遣人数</th> </tr> <tr> <td>医師、歯科医師</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>10 名</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>事務職</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27 名</td> </tr> </table>	学校名	受入数	下呂看護専門学校	延べ 692 名	県立衛生専門学校助産科	延べ 36 名	岐阜県立看護大学	延べ 72 名	名古屋学芸大学短期大学部	延べ 4 名	計	延べ 804 名	職種	派遣人数	医師、歯科医師	9 名	看護師	10 名	コメディカル	7 名	事務職	1 名	計	27 名	III
医学生の病院見学	4月～ 延べ35名																																																																																						
看護学生	4月～ 359名																																																																																						
岐阜県立衛生専門学校	随時実施																																																																																						
医学生の病院見学	4月～ 延べ78名																																																																																						
看護学生	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立衛生専門学校 岐阜県立看護大学 平成医療短期大学 岐阜大学医学部看護学科 岐阜保健短期大学 弥富看護専門学校 他 のべ1,568名 																																																																																						
多治見看護専門学校	1～3年生																																																																																						
県立看護大学	1年生(2日)、3年生(男性・小児・成熟期)																																																																																						
中京学院大学	4年生(卒研未定)																																																																																						
岐阜大学看護学部	1年生																																																																																						
名古屋医専(助産学科)	4年生(選抜実習)																																																																																						
東濃看護専門学校	3人×2グループ(8月に2週間)																																																																																						
養護職実習	3年生(NICU 2日間)																																																																																						
受け入れ元	受け入れ状況																																																																																						
名古屋市立大学	7名(循環器内科1名、麻酔科6名)																																																																																						
名古屋大学	1名(麻酔科)																																																																																						
岐阜大学	3名(腎臓内科、整形外科、産婦人科各1名)																																																																																						
受け入れ元	受け入れ状況																																																																																						
多治見看護専門学校	1～3年生を随時受け入れ																																																																																						
県立看護大学	前期・後期あわせて延べ15名受け入れ																																																																																						
中京学院大学	1年生 19名受け入れ																																																																																						
名古屋医専(助産学科)	4年生 6名受け入れ																																																																																						
東濃看護専門学校	NICUにて21名受け入れ																																																																																						
広島大学大学院	がん専門看護実習 1受け入れ																																																																																						
受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況																																																																																						
薬剤部	金城大学1名、名古屋市立大学2名、たんぽぽ薬局3名、岐阜薬科大学1名、名城大学1名																																																																																						
中央放射線部	岐阜医療科学大学1名																																																																																						
臨床検査科	岐阜医療科学大学1名																																																																																						
リハビリテーション科	名古屋大学2名、愛知医療短期大学1名、平成医療短期大学2名、日本聴能言語福祉学院5名、愛知徳徳大学1名																																																																																						
学校名	受入数																																																																																						
下呂看護専門学校	延べ 692 名																																																																																						
県立衛生専門学校助産科	延べ 36 名																																																																																						
岐阜県立看護大学	延べ 72 名																																																																																						
名古屋学芸大学短期大学部	延べ 4 名																																																																																						
計	延べ 804 名																																																																																						
職種	派遣人数																																																																																						
医師、歯科医師	9 名																																																																																						
看護師	10 名																																																																																						
コメディカル	7 名																																																																																						
事務職	1 名																																																																																						
計	27 名																																																																																						
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																																																																																	
検証結果			検証結果			検証結果																																																																																	

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																								
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																																																						
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																							
<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 項目番号 35</p> <p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成21年度実績(救急救命士養成に関する臨床実習受入)</p> <table border="1"> <tr><td>救急救命東京研修所</td><td>2名</td></tr> <tr><td>東海医療工学専門学校</td><td>2名</td></tr> <tr><td>自衛隊岐阜病院</td><td>6名</td></tr> <tr><td>岐阜県消防学校</td><td>49名</td></tr> <tr><td>名古屋市救急救命士養成所</td><td>1名</td></tr> <tr><td>岐阜市、本巣市消防</td><td>2名</td></tr> <tr><td>山県市消防</td><td>1名</td></tr> </table>	救急救命東京研修所	2名	東海医療工学専門学校	2名	自衛隊岐阜病院	6名	岐阜県消防学校	49名	名古屋市救急救命士養成所	1名	岐阜市、本巣市消防	2名	山県市消防	1名	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施状況は下記のとおりであり計画を達成できた。</p> <p>平成22年度実績(救急救命士養成に関する臨床実習受入)</p> <table border="1"> <tr><td>救急救命東京研修所</td><td>2名</td></tr> <tr><td>東海医療工学専門学校</td><td>2名</td></tr> <tr><td>自衛隊岐阜病院</td><td>4名</td></tr> <tr><td>岐阜県消防学校</td><td>35名</td></tr> <tr><td>名古屋市救急救命士養成所</td><td>1名</td></tr> <tr><td>岐阜市、本巣市消防</td><td>1名</td></tr> <tr><td>各務原市消防</td><td>1名</td></tr> </table> <p>その他自衛隊の教官実習として6名受入</p> <p>・薬学部学生の実習受入れ 薬剤師養成課程が6年となり、認定実務実習の重要性が増した。平成22年度は当センターでは岐阜薬科大学、愛知学院大学、名城大学から9名の実習生を受け入れ人材の育成にあたった。</p>	救急救命東京研修所	2名	東海医療工学専門学校	2名	自衛隊岐阜病院	4名	岐阜県消防学校	35名	名古屋市救急救命士養成所	1名	岐阜市、本巣市消防	1名	各務原市消防	1名	III	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 項目番号 34</p> <p>救急救命士に対しては、定期的な講習及び病院実習を実施し医療技術の向上を図る。</p> <p>○救急救命士に対する教育 平成21年度実績 生涯教育実習70名、 気管挿管実習6名、 薬剤投与実習6名 平成22年度見込 生涯教育実習75名、 気管挿管実習6名、 薬剤投与実習6名</p>	<p>救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>○研修実績比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>70名</td> <td>76件</td> <td>+8.6%</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>6名</td> <td>3名</td> <td>△50%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H21	H22	増減率	生涯教育実習	70名	76件	+8.6%	気管挿管実習	6名	6名	0%	薬剤投与実習	6名	3名	△50%	III	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 項目番号 30</p> <p>救急救命士などの病院実習の受入れ体制充実に努める。 また、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士等の学生についても積極的に受入れを行う。</p> <p>平成20年度実績 就業前教育実習3名、 再教育実習12名、 ワークショップ方式実習7名、 薬剤投与実習7名 平成21年度見込 就業前教育実習3名、 薬剤投与実習2名、 消防学校病院実習1名</p>	<p>◆下呂市消防本部からの救急救命士などの病院実習の受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実習項目</th> <th>受入数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>就業前教育実習</td><td>1名</td></tr> <tr><td>再教育実習</td><td>17名</td></tr> <tr><td>薬剤投与実習</td><td>1名</td></tr> <tr><td>消防学校病院実習</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>20名</td></tr> </tbody> </table> <p>◆コメディカルの実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>受入数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>理学療法士</td><td>20名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>1名</td></tr> <tr><td>管理栄養士※</td><td>3名</td></tr> <tr><td>計</td><td>29名</td></tr> </tbody> </table> <p>※うち1名 H23採用</p>	実習項目	受入数	就業前教育実習	1名	再教育実習	17名	薬剤投与実習	1名	消防学校病院実習	1名	計	20名	種 別	受入数	理学療法士	20名	作業療法士	3名	言語聴覚士	2名	薬剤師	1名	管理栄養士※	3名	計	29名	III
救急救命東京研修所	2名																																																																													
東海医療工学専門学校	2名																																																																													
自衛隊岐阜病院	6名																																																																													
岐阜県消防学校	49名																																																																													
名古屋市救急救命士養成所	1名																																																																													
岐阜市、本巣市消防	2名																																																																													
山県市消防	1名																																																																													
救急救命東京研修所	2名																																																																													
東海医療工学専門学校	2名																																																																													
自衛隊岐阜病院	4名																																																																													
岐阜県消防学校	35名																																																																													
名古屋市救急救命士養成所	1名																																																																													
岐阜市、本巣市消防	1名																																																																													
各務原市消防	1名																																																																													
年度	H21	H22	増減率																																																																											
生涯教育実習	70名	76件	+8.6%																																																																											
気管挿管実習	6名	6名	0%																																																																											
薬剤投与実習	6名	3名	△50%																																																																											
実習項目	受入数																																																																													
就業前教育実習	1名																																																																													
再教育実習	17名																																																																													
薬剤投与実習	1名																																																																													
消防学校病院実習	1名																																																																													
計	20名																																																																													
種 別	受入数																																																																													
理学療法士	20名																																																																													
作業療法士	3名																																																																													
言語聴覚士	2名																																																																													
薬剤師	1名																																																																													
管理栄養士※	3名																																																																													
計	29名																																																																													
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																																																																								
機 密 結 果			機 密 結 果			機 密 結 果																																																																								

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-4-1 地域支援事業

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																					
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																				
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																			
<p>(1) 地域医療水準の向上 項目番号 30</p> <p>地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図り、オープン病床クリニカルミーティングや病診・病病連携検討会を開催するなど、地域の医療機関へのハード・ソフト両面での支援を推進する。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度は、郡上市民病院との遠隔画像診断、地域がん診療拠点病院として病理診断を実施した。 <p>○開放型病床の利用及び共同診療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、さらに8月に新設された小児急病センターにおいて、各務原市医師会所属小児科開業医6名（各1回/月）が小児科輪番日に共同診療を実施した。 	<p>○地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 開放型病床の利用促進（利用率） H20：71.4% → H21：72.6% → H22：75.3% オープン病床クリニカルミーティングの開催 開催日：23年2月24日（木） 参加者：84名（うち院外：34名） オープン病床クリニカルミーティングや病診・病病連携検討会の開催実績 岐阜地域医療連携研究会（H22.6） 岐阜県総合医療センターオープン病床クリニカルミーティング（H23.2） ○高度先進医療機器の共同利用の推進 共同利用実績 【CT】 H21：485件 → H22：481件 【MRI】 H21：311件 → H22：337件 【PET】 H21：87件 → H22：78件 【遠隔画像診断実施数】 郡上市民病院 H21：174件 H22：173件 ○共同診療の推進 21年度に引き続き、総合周産期母子医療センターの夜間・休日診療へ11名の開業医師が協力。小児夜間急病センターには各務原市医師会所属医師6名が小児輪番日において共同診療を実施。 ○開放型病床の利用及び共同診療の推進 オープン病床の活用実績及び輪番制診療の実績 ○輪番制実施状況 小児病院群輪番 H21：172日 H22：163日 内科・外科系病院群輪番 H21：66日 H22：66日 ○開放型病床利用状況 病床利用率 H21：72.6% H22：75.1% 	III	<p>(1) 地域医療水準の向上 項目番号 30</p> <p>地域支援病院として医療連携を強化し、紹介率、逆紹介率ともに60%以上維持を目標に診療を行う。5床の開放型病床を有効に活用し登録医師との共同診療を行い、定期的に医療連携講演会及び症例検討会を開催し、地域医療の質の向上を図る。</p> <p>東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科開業医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科医と共にハイリスクの周産期医療を担っている。地域医療機関と共に安心して出産ができる体制づくりを推進する。</p>	<p>地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携推進協議会を年4回開催し、年度全体の紹介率については、60.2%、逆紹介率については79.2%となり、目標を達成することができた。また、医療連携講演会を8月19日（第1回）、2月16日（第2回）に実施した。 高度機器利用は、年間で1,416件と、順調に推移しているものの、開放病床の利用が口腔外科の通算93日のみと、伸び悩んだ。 <p>○主な高度医療機器の共同利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>455</td> <td>581</td> <td>+27.7%</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>525</td> <td>547</td> <td>+4.2%</td> </tr> <tr> <td>RI</td> <td>149</td> <td>155</td> <td>+4.0%</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>99</td> <td>90</td> <td>△9.1%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、安心して出産ができる体制づくりを推進した。 	年度	H21	H22	増減率	CT	455	581	+27.7%	MRI	525	547	+4.2%	RI	149	155	+4.0%	PET	99	90	△9.1%	III	<p>(1) 地域医療水準の向上 項目番号 31</p> <p>地域医療研究研修センターでは、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターとの密接な連携のもとに、二次医療圏における医療提供体制の課題と解決策に関する調査研究及び当院を実践フィールドとした地域医療学の研究を行うことで、地域医療を担う医師の養成に取り組む。</p> <p>病診連携を推進し、開業医との情報交換については月1回以上実施する。</p> <p>また、当院で主催する各種医療研修会等にも開業医を招き、地域全体の医療水準向上に努める。</p>	<p>地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日に実施し、地域開業医との連携を図った。また、二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を開催。症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携を強化し、地域医療水準の向上に努めた。</p> <p>【情報交換会 開催実績】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H22.5.19</td> <td>出席51名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>H22.7.21</td> <td>出席55名</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>H22.9.15</td> <td>出席61名</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>H22.11.17</td> <td>出席59名</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>H23.1.19</td> <td>出席61名</td> </tr> </tbody> </table>	第1回	H22.5.19	出席51名	第2回	H22.7.21	出席55名	第3回	H22.9.15	出席61名	第4回	H22.11.17	出席59名	第5回	H23.1.19	出席61名	III
年度	H21	H22	増減率																																								
CT	455	581	+27.7%																																								
MRI	525	547	+4.2%																																								
RI	149	155	+4.0%																																								
PET	99	90	△9.1%																																								
第1回	H22.5.19	出席51名																																									
第2回	H22.7.21	出席55名																																									
第3回	H22.9.15	出席61名																																									
第4回	H22.11.17	出席59名																																									
第5回	H23.1.19	出席61名																																									
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果																																			

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																								
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																							
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																						
<p>(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援などの人的支援</p> <p>項目番号 37</p> <p>平成21年度は、岐阜赤十字病院(2名/週 循環器内科)、岐阜県立下呂温泉病院(6月から1名:循環器内科、9月から1名:整形外科、4月から1名:小児科)、下呂市立金山病院(1人/月、外科)、公立学校共済組合東海中央病院(10月から2名/週 小児科)において診療における人的支援を行った。</p> <p>今後も地域医療支援の機能を果たすため、引き続き医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援などの人的支援を継続する。</p>	<p>・平成22年度は、岐阜県立下呂温泉病院(4月から1名:小児科、1月から1名:産婦人科、随時:内科系・外科系)、高山赤十字病院(4月から1名:外科、6月から1名:循環器内科)、下呂市立金山病院((1人/月1回当直、外科)、公立学校共済組合東海中央病院(4月から2名/週1回 小児科)、木沢記念病院(9月から1名/週1回:循環器内科)において診療における人的支援を行った。</p>	III	<p>(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援などの人的支援</p> <p>項目番号 36</p> <p>国民健康保険上矢作病院へ、医師一人を派遣し、研修医も月単位に一人ずつ、派遣する。</p>	<p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援などの人的支援</p> <p>・国民健康保険上矢作病院へ医師を一人派遣し、研修医も月単位に一人ずつ派遣した。また、総合病院中津川市民病院へ週1回、医師1名を派遣した。それ以外に、国民健康保険蛭川診療所へ7月14日と21日に代診医を派遣した。</p>	IV	<p>(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援などの人的支援</p> <p>項目番号 32</p> <p>飛騨及び中濃医療圏のへき地診療所や医師不足地域の医療機関への診療支援などの人的支援を行うとともに、高度医療機器の共同利用を進める。</p>	<p>◆へき地・医師不足診療所等への医師出向による人的支援状況(主なもの)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>診療科</th> <th>派遣日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>内科医師</td> <td>延べ 47 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下呂市立小坂診療所</td> <td>内科医師</td> <td>延べ 11 日</td> </tr> <tr> <td>産婦人科医師</td> <td>延べ 33 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">東白川村国保診療所</td> <td>外科医師</td> <td>延べ 12 日</td> </tr> <tr> <td>整形外科医師</td> <td>延べ 12 日</td> </tr> <tr> <td>東白川村母子健康センター</td> <td>産婦人科医師</td> <td>延べ 24 日</td> </tr> <tr> <td>高山市久々野診療所</td> <td>内科医師</td> <td>延べ 44 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆当院医療機器の地域開業医等の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MRI 134件 ・CT 6件 	派遣先	診療科	派遣日数	下呂市立金山病院	内科医師	延べ 47 日	下呂市立小坂診療所	内科医師	延べ 11 日	産婦人科医師	延べ 33 日	東白川村国保診療所	外科医師	延べ 12 日	整形外科医師	延べ 12 日	東白川村母子健康センター	産婦人科医師	延べ 24 日	高山市久々野診療所	内科医師	延べ 44 日	III
派遣先	診療科	派遣日数																												
下呂市立金山病院	内科医師	延べ 47 日																												
下呂市立小坂診療所	内科医師	延べ 11 日																												
	産婦人科医師	延べ 33 日																												
東白川村国保診療所	外科医師	延べ 12 日																												
	整形外科医師	延べ 12 日																												
東白川村母子健康センター	産婦人科医師	延べ 24 日																												
高山市久々野診療所	内科医師	延べ 44 日																												
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果																						

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(3) へき地医療対策の支援 項目番号 33 平成22年度からは、県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上で業務を実施することとし、引き続きへき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援ができるよう、地域医療部を強化し、総合診療科を新設する。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	<p>・県とへき地医療支援機構業務委託契約を締結し、依頼に遺する体制を整備</p> <p>・後期研修医へき地派遣 (H22 実績) 高山赤十字病院：循環器科2名、外科1名 下呂温泉病院：消化器内科2名、小児科3名、産婦人科2名</p> <p>・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることにより医師不足の解消を図ることを目的として、平成22年9月に、岐阜大学医学部、同附属病院、及び研修医が多く集まる病院とともに「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」を設立した。</p>	III				<p>(3) へき地医療拠点病院としての地域医療支援 項目番号 33 へき地医療拠点病院として地域医療のすべてに取り組むとともに、飛騨南部地域の中心的役割を担い、へき地医療のモデル的病院としてその成果を県内に還元していく。 平成22年度は、検診部門の充実を図ることで、予防医学の充実を目指す。</p>	<p>総合健診センター部において「下呂市がん検診」の受け入れをH22年6月から開始し、へき地における予防医学の充実を図った。</p> <p>【「下呂市がん検診」の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下呂市民対象 ・検診項目：胃がん検診、大腸がん検診、肺がん及び結核検診をセットで検診 ・H22年度受診者数 68名 	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果	

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-4-2 社会的な要請への協力

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力をを行う。 項目番号 39	<ul style="list-style-type: none"> 医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、随時求められる社会的な要請に対し協力を行ってきた。 岐阜大学への講師（医師）派遣実績 24人 岐阜県衛生専門学校への講師（看護師）派遣実績 17人 各種学校への講師（看護師）派遣 26件 	III	医師等による上矢作病院等の地域の医療機関への支援の継続、がん診療連携拠点病院として、地域医療機関の医師を対象とした緩和ケア医師研修会をH21年度に引き続き開催、地域医療従事者を対象とした定期的な症例検討会等を積極的に開催、地域の要請に応じた講師の派遣等に対応できるための体制づくり等を進め、地域の医療水準の向上に努める。医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力をを行う。 項目番号 37	<ul style="list-style-type: none"> 医師等による国民健康保険上矢作病院等の地域医療機関への支援を行ったほか、地域がん診療連携拠点病院として、地域医療機関の医師を対象とした緩和ケア研修会等を企画、開催した。 緩和ケア研修会を10月2・3日に開催（他の地域から、講師・ファシリテーターの参加協力が得られた。） 12月19日に大腸がん撲滅県民フォーラム in 東濃に共催団体として参加し、当院医師2名が講演を行った。 緩和ケア地域連携共同カンファレンスを開催（22年度実績 14回） 	III	医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力をを行う。 項目番号 34	下呂市が実施する「障害児療育支援事業」に対し、当院の専門知識を有する理学療法士を派遣し、社会的な要請の協力を行った。 H22年度 年10回派遣	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		
機 密 結 果			機 密 結 果			機 密 結 果		

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-5-1 医療救護活動の拠点機能

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院														
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価													
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価												
<p>(1) 医療救護活動拠点機能確保、訓練実施 項目番号 40 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。 24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れるとともに、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。 また、NBC（核、生物、化学）災害に対し、消防本部等の関係機関はじめ住民やボランティアの協力を得て、屋上ヘリポートを活用し、災害時の緊急を要する重篤患者の搬送を行う広域災害対策訓練を実施する。</p>	<p>・地震等の災害発生時に即応できる医療体制の確保のため、災害発生時に多数の負傷者が来院したとの想定のもとに災害対策訓練を実施した。 日 時：平成22年8月28日（土） 訓練内容： 1 トリアージ訓練 2 応急処置訓練 3 ヘリコプターによる患者受け入れ訓練 4 消防訓練 参加人員：230名</p>	III	<p>(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 岐阜県災害拠点病院である総合病院中津川市民病院と連携して、大規模災害時にも迅速に対応できるよう救命救急センターを中心に受け入れ体制をとった。 項目番号 38</p>	<p>岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 ・岐阜県災害拠点病院である総合病院中津川市民病院と連携して、大規模災害時にも迅速に対応できるよう救命救急センターを中心に受け入れ体制をとった。 ・年2回、大規模災害発生による緊急時にも医療機能を維持するために院内の消防・防災・避難訓練を実施した。 ○訓練内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日時</td> <td>平成22年12月3日</td> <td>平成23年3月22日</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>・避難消火訓練 ・はしご車実演 ・AED取扱訓練</td> <td>・新たな避難経路確認 ・消火訓練</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>約100名</td> <td>約80名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害等の発生への備え、米600食分や、飲料水504本を新たに調達した。</p>	回	第1回	第2回	日時	平成22年12月3日	平成23年3月22日	内容	・避難消火訓練 ・はしご車実演 ・AED取扱訓練	・新たな避難経路確認 ・消火訓練	参加人数	約100名	約80名	III	<p>災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣など医療救護を行う。 項目番号 35 (1) 岐阜県地域防災計画に基づき、本県或いは飛騨地域の医療救護活動拠点機能を担うとともに、災害等の発生時には患者の受け入れなど求められる機能を発揮する。災害発生時に備え、下呂市が実施する災害訓練に積極的に参加する。</p>	<p>「岐阜県立下呂温泉病院災害対策マニュアル」を改定し、不測の事態に対応できるよう体制を整備した。 また、下呂市が実施する防災訓練に看護師が参加し、災害発生時等のシミュレーション訓練を実施した。 →「エマルゴを用いた下呂市土砂災害対応演習」 12月19日 下呂市萩原町あさぎり体育館 ※エマルゴ＝病院前救護を主とした多数傷病者対応演習</p>	III
回	第1回	第2回																		
日時	平成22年12月3日	平成23年3月22日																		
内容	・避難消火訓練 ・はしご車実演 ・AED取扱訓練	・新たな避難経路確認 ・消火訓練																		
参加人数	約100名	約80名																		
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント														
<p>(2) 基幹災害医療センター機能強化 項目番号 41 県下5圏域の災害拠点病院を統括する最先端の「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發揮する。</p>	<p>・災害備蓄として各種備品を整備した。 主な備品： ストレッチャー、簡易ベッド、防毒マスク・スーツ、患者洗浄ブース、担架等 ・非常時において病室での収容人数を拡大するために、病室（通常4人→非常時6人）、待合室、会議室等での収容に対応した施設整備（酸素吸入用弁など）。 ・災害備品を消防学校等への貸出を行い、平時にも訓練し、緊急時に経験不足等による稼働率低下を防ぐ体制を整えた。</p>	III																		
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント														

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-5-2 他県等の医療救護への協力

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																							
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																					
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																						
<p>(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣 項目番号 42 大規模災害への対応を図るため、DMATを編成し、必要な機能を整備する。 平成16年度には、岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、新潟県中越地震にて医療支援を実施した。(5班体制：1班5名)</p>	<p>東日本大震災の被災地にDMAT及び医療救護班を派遣した。 ・DMAT派遣 1班5名、岩手県花巻空港他 平成23年3月11日(金)～3月14日(月) ・DMAT登録職員14名(医師2名、看護師6名、薬剤師3名) ・医療救護班派遣 1班5名、宮城県亘理町 平成23年3月18日(金)～3月22日(月) ・以降引き続き4チーム派遣した。(4月～5月)</p>	III	<p>(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣 項目番号 39 大規模災害時に厚生労働省医政局からの要請に常時対応出来る体制をとり、災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣する。</p>	<p>大規模災害発生時の災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣 ・岐阜DMAT 隊員登録：医師3名、看護師3名、事務職員1名の計7名、今年度新たに事務職員1名を登録 ・東日本大震災における支援活動として3/11～3/13に医療チームを茨城県に派遣し、救護活動を行った。また宮城県知事から岐阜県にあった依頼に基づき、当院からも3/22～3/24に災害救護班として5名が宮城県に派遣され、被災地での診療行為を行った。</p>	IV																								
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果																						
<p>(2) 大規模災害に対応するよう、DMATの5班体制を確保するために、国、中部地区、岐阜県が開催する訓練・研修に参加し、質の向上と維持を図る。 平成21年度は、DMAT研修(国主催)に計2回参加した 項目番号 43</p>	<p>・事務の欠員を補充するため、災害派遣医療チーム研修に1名参加した。 ・岐阜DMAT研修会に4名参加した。</p>	III	<p>(2) DMATの質の向上と維持 国、中部地区、岐阜県が開催する年1～2回の訓練に参加する。また、核、化学、生物テロ対策、広域搬送訓練も行う。 項目番号 40</p>	<p>(災害派遣医療チーム(DMAT)の質の向上と維持 ○主なDMAT活動訓練実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>訓練内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/25～10/26</td> <td>緊急時対応訓練(中部地域ブロック合同訓練)</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>11/1</td> <td>除染設備設置訓練</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>11/6</td> <td>技能維持研修</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>12/17</td> <td>防災航空隊・病院消防本部合同訓練</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>1/10</td> <td>EmergoTrainSystem(岐阜DMAT研修会)</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>2/7～2/8</td> <td>災害医療従事者研修会</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	訓練内容	参加人数	10/25～10/26	緊急時対応訓練(中部地域ブロック合同訓練)	6名	11/1	除染設備設置訓練	10名	11/6	技能維持研修	7名	12/17	防災航空隊・病院消防本部合同訓練	4名	1/10	EmergoTrainSystem(岐阜DMAT研修会)	7名	2/7～2/8	災害医療従事者研修会	4名	III			
実施期間	訓練内容	参加人数																											
10/25～10/26	緊急時対応訓練(中部地域ブロック合同訓練)	6名																											
11/1	除染設備設置訓練	10名																											
11/6	技能維持研修	7名																											
12/17	防災航空隊・病院消防本部合同訓練	4名																											
1/10	EmergoTrainSystem(岐阜DMAT研修会)	7名																											
2/7～2/8	災害医療従事者研修会	4名																											
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果																						